

当院の回復期リハビリテーション病棟における
施設基準に係る実績について

ア. 回復期リハ病棟の退棟患者数 実績期間:令和6年10月～12月

	回復期リハビリテーションを要する状態	退棟患者数
①	脳血管疾患, 脊髄損傷, 頭部外傷, くも膜下出血のシャント手術後, 脳腫瘍, 脳炎, 急性脳症, 脊髄炎, 多発性神経炎, 多発性硬化症, 腕神経叢損傷等の発症後若しくは手術後の状態、又は義肢装着訓練を要する状態	2
①*	ただし, 高次脳機能障害を伴った重症脳血管障害, 重度の頸髄損傷及び頭部外傷を含む多部位外傷	8
②	大腿骨, 骨盤, 脊椎, 股関節若しくは膝関節又は二肢以上の多発骨折の発症後又は手術後の状態	22
③	外科手術又は肺炎等の治療時の安静により廃用症候群を有しており, 手術後又は発症後の状態	6
④	大腿骨, 骨盤, 脊椎, 股関節又は膝関節の神経, 筋又は靭帯損傷後の状態	0
⑤	股関節又は膝関節の置換術後の状態	3
	合計	41

イ. 直近の実績指数※ 実績期間:令和6年10月～12月

(56.93)点

※実績指数とは、回復期リハビリテーション病棟におけるリハビリテーションの成果を数値化したもので、指数が高いほど成果が高いとされています。厚生労働省の基準では 27 点以上で一定以上の成果を満たすものとされています。

令和7年 1月10日
市立御前崎総合病院 病院長